

四国ガスグループにおけるDX推進人材の育成を開始
～新しい時代に向けて、事業環境の整備と企業価値の向上へ～

2023年11月13日

四国ガス株式会社

四国ガスグループでは、2022年度より、長期的な視点で「四国ガスグループビジョン2030」を策定し、5つの経営基本方針「エネルギー事業の深化」「お客さま、地域社会を支える価値共創、SDGsへの貢献」「脱炭素社会への挑戦」「新たな事業領域への取り組み」「グループ経営基盤の強化」を掲げ、めまぐるしく変化する時代のニーズや環境に対応していくための積極的な取り組みを進めております。

このような中、より効率的かつ革新的な方法で力強く、これら経営基本方針を推進していくためには「デジタル技術」の理解と活用が不可欠であることから、当社グループでは今年度より、総合人材サービス会社として教育研修事業を行う株式会社クリエアナブキ（本社:香川県高松市/代表取締役社長 楠戸 三則）、プログラミングスクール事業を手掛ける株式会社テックアイエス（本社:愛媛県松山市/代表取締役 伊藤 太、以下「テックアイエス」）の2社の支援のもと、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の担い手となる人材の育成を開始いたしました。

管理部門に所属する四国ガス社員14名が、7月にテックアイエス講師による3日間のDX研修を受講し、9月に社内業務改善を提案する発表会を開催しました。引き続き、各人のスキルアップを目的としたDX関連セミナー参加を支援するほか、12月にAI活用スキルアップ研修を予定しております。DX推進人材育成の第一歩として、管理部門に所属する職員を育成していくことにより、現場からの要望を反映しながら既存業務の効率化につなげてまいります。

今後はデジタル/ビジネス/社内業務の深い知見を得た人材を有する組織を目指すため、2030年までに四国ガスの各部門へ、複数名のDX推進人材配置の実現を目指してまいります。加えて、四国ガスグループ各社につきましても、DX推進人材の育成に積極的に取り組む予定としております。

当社グループは、RPAによる作業自動化、ペーパーレス化等の業務効率化をさらに推進し、新しい時代のDX領域として顧客管理の統合プラットフォームの構築や新たなビジネスの創出、そして多様な働き方を可能にする環境整備を図り、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

【参考】 育成するDX推進人材および求める能力

- ・ プロダクトマネージャー：実現に向けて、プロジェクト全体を統括するリーダー的能力
- ・ ビジネスデザイナー：ビジネスやサービスの企画・戦略を立案する能力
- ・ テックリード：必要なITシステムの設計や開発計画を立てる能力
- ・ データサイエンティスト：社内外のさまざまなデータを収集・分析できる能力

以上